

第644回番組審議会報告

2020年1月17日開催

■出席委員

佐藤卓己委員長 佐藤友美子副委員長 今井美樹委員 島田智委員（書面）
太平信恵委員 津村記久子委員 東野博昭委員 細見良行委員

■毎日放送出席者

三村社長 梅本専務 木田常務 宮田常務 岡田取締役 高山取締役
奥田番組編集部長 松下プロデューサー
高山コンプライアンス室長 菅野番組審議会事務局長

◆議事の概要

テレビ番組「ミント！スペシャルー真相R特別編ー」

（2019年12月31日（火）17：00～18：00放送）について意見交換した。

【番組概要】

平日夕方の番組「ミント！」木曜レギュラーで放送している、記者が独自取材で「事件・事故」「疑惑」「社会問題」などの実態に迫る調査報道コーナー「真相R」を年末特番として放送。

- ①嘘のレビューを投稿させることによって自社の商品をより多く売ろうとする業者の手口に迫る。
- ②整骨院の療養費不正請求の実態。
- ③西成「あいりん地区」の路上で、医師の処方箋が無ければ手に入れることのできない睡眠薬などの医薬品を売りさばく、売人への直撃取材からみえてきたものとは。

【各委員の主な意見は次の通り】

*非常に面白かった。取材にカネも時間もかけているのがよく分かった。

1時間に過不足なくコンパクトにまとめていて、見終わったあと充足感あり。千原ジュニアさんのコメントが当意即妙で鋭く感心した。

*この番組は、口コミレビューをうのみにするなという注意喚起になっている。

- *被害に遭った人を探し出して紹介するようなことは、YouTuberにはできない。テレビの取材力の見せどころだと思う。
- *中国での取材の場面では、中国語が氾濫している町中の描写もなくいきなり倉庫に行ったので、せっかく中国まで行っているのに中国らしさを感じられなかった。
- *利用する我々は、結局どうしたらいいのか。不自然なレビューに気をつけるしかないのか。そのあたりのアドバイスも欲しかった。
- *気軽なバイト気分の不正書き込みがどういう犯罪になるのかや、整骨院の保険金の不正請求で、患者もわかったうえで利用していたら犯罪に加担していることを、出演の弁護士から教えてもらえてよかったと思った。
- *番組内で弁護士が「ネット空間に対する新しい秩序が必要」とおっしゃったが、これはすごく適切なコメントだと思う。現在の法律に照らしてこういう罪になるからやったらだめよという警告だけでは、今後、説得力に欠けていくのではないかと思う。
- *インターネットサイトに関しては本当にこれからなので、こういう番組によって法律ができるぐらいの、何か動きが出てくれば調査報道らしい展開だと思う。新しい分野の問題をどんどん取り上げて行ってほしい。
- *一晩で書いた療養費請求書を見たら公的な機関は不正がわかりそうなものなのに、それを放っておくことに疑問を感じたが、こういうところをどんどんマスコミが突っ込んで行ってほしい。
- *見つかった3店舗だけは閉めたようだが、そのグループ自体は、今どうなっているのか知りたい。
- *整骨院の保険金の不正請求については、そういう治療を受けた経験があり後ろめたい感じを持った人は結構いると思うが、そういう人に対するメッセージがなかった。恐らく多くの人が無となく「自分にも責任があったのかな」と思う部分をちゃんとフォローすることが大切だと思う。

【番組制作者側の説明、質問への回答】

*ハードな内容がなかなか視聴者に届きにくいところがあるので、年末の特番として、タレントさんにも入っていただいて、見ていただきやすい形にすることで、視聴者層を広げていきたいという思いでやっている。

以上